



旭化学工業株式会社

(証券コード:7928 東京証券取引所スタンダード市場 名古屋証券取引所メイン市場)



2025年8月期
決算説明資料及び
中期経営計画の更新

<https://www.asahikagakukogyo.co.jp>

2025年11月27日

会社概要

(2025年8月31日現在)

会社概要

企業名	旭化学工業株式会社 Asahi Kagaku Kogyo Co., Ltd.
設立	1966年9月
代表者	取締役社長 杉浦 武
資本金	671百万円
発行済み株式数	3,896,000株
上場市場名	東証スタンダード 名証メイン市場 (7928)
本社（工場）	碧南市港南町2丁目8番地14
本社事務部門及び安城工場	安城市城ヶ入町広見133番地3
海外子会社	中国：旭日塑料制品（昆山）有限公司 タイ：ASAHI PLUS CO.,LTD.
従業員数（合計563名）	（連結）社員477名 臨時雇用者数86名
事業内容	電動工具及び自動車部品等の樹脂成形、 電動工具の組付、 樹脂成形用金型の設計製作、 並びに自社製品である建築資材の製造販売
主な得意先	（株）マキタ、（株）イノアックコーポレーション、トヨタ紡織（株）、豊田合成（株）、 （株）デンソーウェーブ

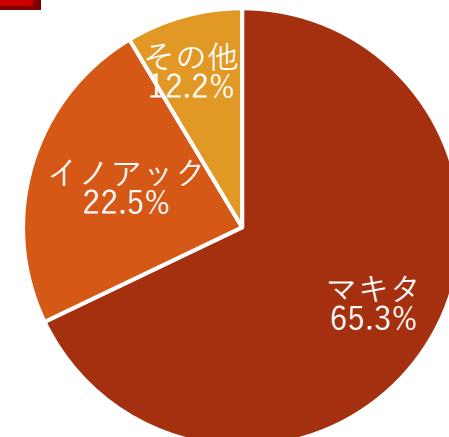
経営理念

「愛されるプラスチックメーカー」
を目指して！

合理化の追求…良い考え方
信頼性の重視…良い商品
人間性の尊重…良い職場

人・物・金は企業にとって限度がある。
限度あるものを最高に生かすのが事業である。

取引先別売上高



地図



自社製品（建築用資材）



ビッグアンカー1／2 ストロングプラグ
Mk-II

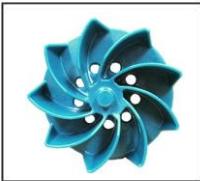
極美 GOKUBI

AXプラグ

アンカーピン

ノーブルアンカー

電動工具メーカー向け成形品



ハウジング

モーターハウジング

ハンドルセットビン

ファン

ダストカバー

プラスチックケース

自動車部品メーカー成形品



機能部品

グリップ部品

内装部品

ピラー部品

ピラー部品

インパネ部品

その他成形品



スキャナー部品

ロボット部品

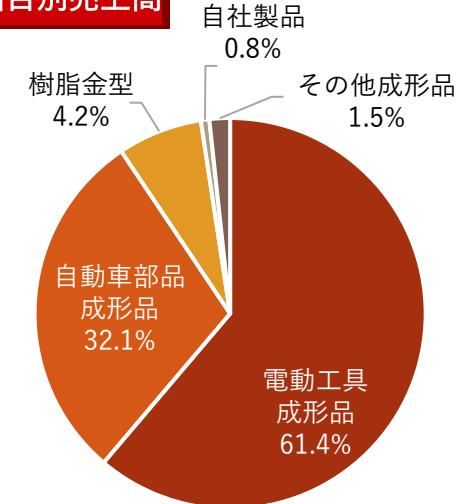
ロボット部品

スキャナー部品

スキャナー部品

医療用樹脂ケース

品目別売上高



本社工場

所在地	愛知県碧南市港南町2丁目8番地14	
敷地面積	16,588m ²	
建 物	成形工場・加工棟 各1棟 自動倉庫・倉庫 各1棟	
射出成形機 (合計16台)	1,300 t	3 台
	850 t	5 台
	650 t	7 台
	450 t	1 台
従業員数 (合計80名)	社員64名 臨時雇用者数 16名	



安城工場(事務部門含む)及び平坂工場

所在地	愛知県安城市城ヶ入町広見133番地3
敷地面積	6,308 m ²
建 物	工場 3棟、事務所・食堂 1棟
射出成形機 (合計25台)	600t 1台 450t 7台 350t 1台 280t 2台 220t 4台 200t 3台 150t 4台 100t 2台 85t 1台
従業員数 (合計88名)	社員 85名 臨時雇用者数 3名



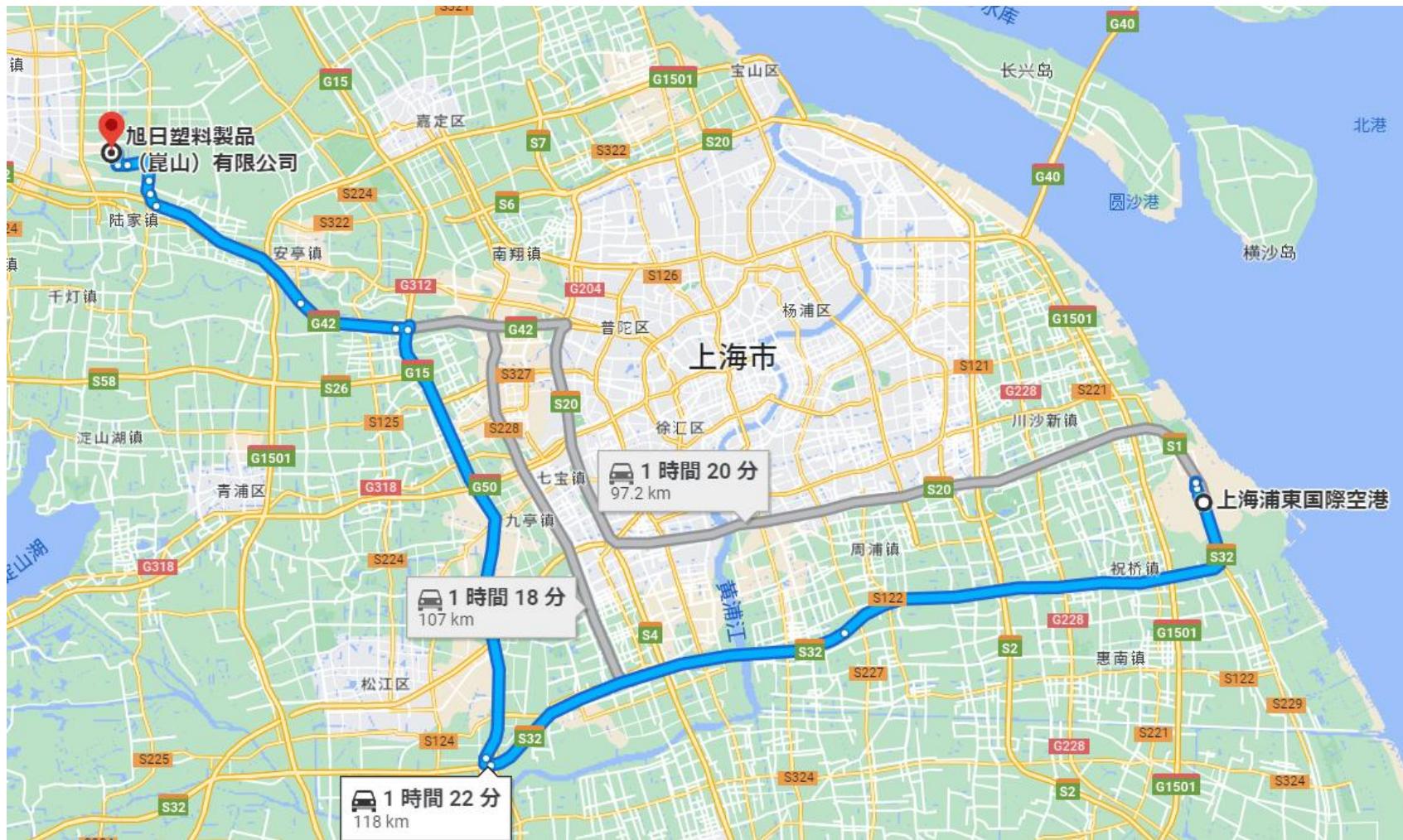


旭日塑料制品(昆山)有限公司

企業名	旭日塑料制品（昆山）有限公司			
設立	2001年12月			
代表者	総經理 手島 淳			
資本金	624万 U S \$ (旭化成工業100%出資)			
敷地面積	27,257m ²			
所在地	中華人民共和国江蘇省昆山市 昆山經濟技術開発区盛希路20号			
建物	工場棟2棟 事務所棟1棟 食堂棟1棟 守衛室1棟			
射出成形機 (合計56台)	800t	1台	700t	1台
	530t	5台	470t	5台
	450t	1台	380t	3台
	360t	1台	350t	2台
	320t	2台	230t	1台
	220t	2台	200t	5台
	190t	1台	180t	1台
	160t	16台	150t	2台
	120t	2台	100t	2台
	90t	2台	80t	1台
従業員数 (合計297名)	社員	250名	臨時雇用者数	47名
主な得意先	牧田（中国）有限公司 牧田（昆山）有限公司			



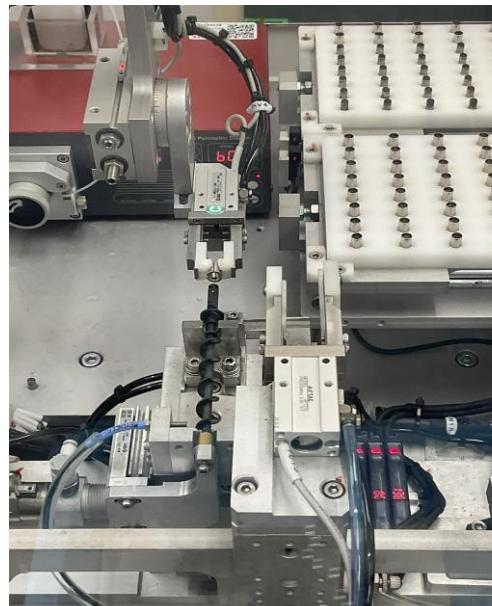
地图 旭日塑料制品（昆山）有限公司





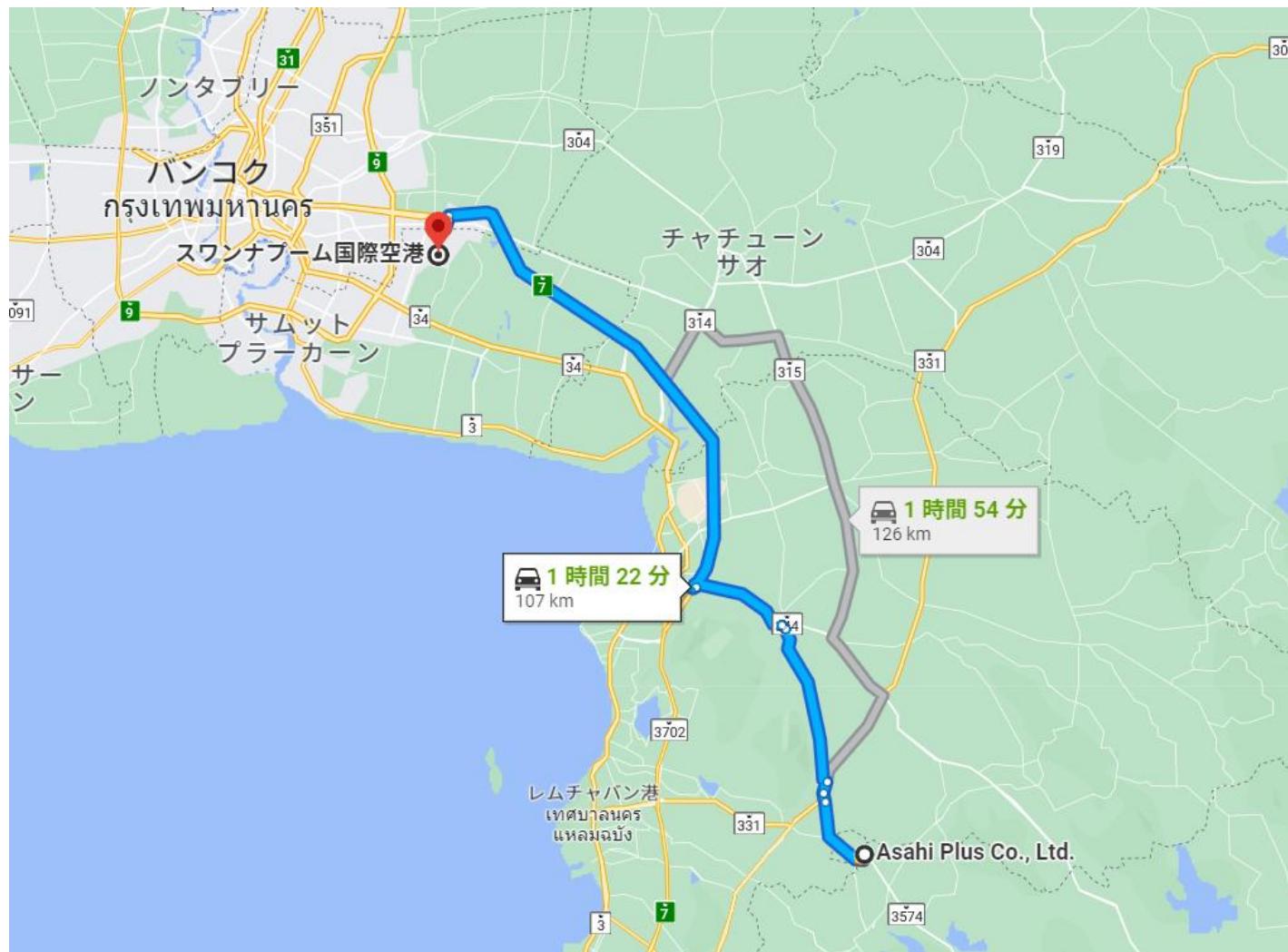
ASAHI PLUS CO.,LTD

企業名	ASAHI PLUS CO.,LTD	
設立	2011年7月	
代表者	南 幸一	
資本金	5億9,000万バーツ (旭化成工業100%出資)	
敷地面積	25,998m ²	
所在地	タイ王国 ライヨーン県	
建物	工場棟1棟	
射出成形機 (合計17台)	450t 3台	350t 3台
	280t 5台	230t 1台
	180t 3台	110t 2台
従業員数 (合計91名)	社員71名 臨時雇用者数20名	
主な得意先	Makita Manufacturing(Thailand) Co.,Ltd. ROKI(THAILAND) Co.,Ltd. RICOH(THAILAND) Co.,Ltd.	





地図 ASAHI PLUS CO.,LTD



創業
1962年
設立
1966年

創業期

- ・ 愛知県碧南市大字鷲塚字川岸浜36番地（現 愛知県碧南市神有町7丁目11番地）において、プラスチック製品の成形及び加工を目的として資本金2,000千円にて旭化学工業株式会社設立
- ・ 製造品目を日用雑貨用品より、工業部品（自動車）に全面切替える
- ・ （株）マキタ（旧商号（株）マキタ電機製作所）と取引開始、電動工具成形品の生産を始める

1978
年

第1次 成長期 生産能力 の強化

- ・ 需要の増大に対応するため、愛知県安城市城ヶ入町に安城工場を新設
- ・ 需要の拡大に対応するため、安城工場を増設
- ・ 本社事務部門を本社から安城工場へ移設
- ・ 自社ブランド製品として樹脂アンカープラグを開発、発売

1993
年

- ・ 日本証券業協会に株式を店頭登録

2001
年

第2次 成長期 海外進出

- ・ 中国江蘇省昆山市に旭日塑料制品（昆山）有限公司設立
- ・ 旭日塑料制品（昆山）有限公司の新工場完成、移転
- ・ タイにASAHI PLUS CO.,LTD.を設立

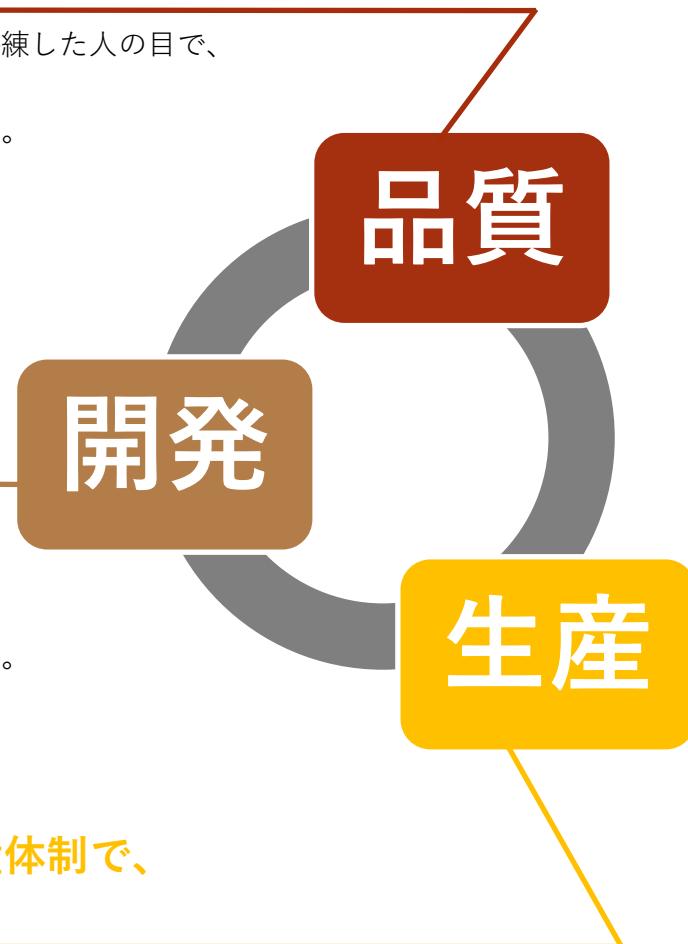
2022
年

創業60周年

当社の強み

製品の品質管理の徹底は会社の信頼をより大きなものにします。

- ・全工程での品質管理体制はもちろん、三次元測定器などの精密機器や熟練した人の目で、あらゆる角度から製品を徹底的にチェックしてお届けしています。
- ・日本品質を海外拠点でも可能にし、ユーザーのニーズに対応しています。



常に高品質を維持するため、
新しい成形技術など、技術開発に努め、
精度の限界まで挑戦しています。

- ・豊富な設備と長年培われた技術から高品質な製品を提供しております。
- ・自社オリジナル製品の開発・製造も30年前より実施しています。
- ・3D・CADや流動解析ソフトなど、先進のテクノロジーを駆使し、
新しい成型技術など常に技術開発に努め制度の限界まで挑戦しています。

金型設計から射出成形、アッセンブリまで一貫生産体制で、 ハイクオリティな製品を造りだしています。

- ・最高品質の製品をタイムリーにお届けすることができる安定した生産能力にて、お客様のニーズに応じて正確かつ迅速にモノを造っています。
- ・大型製品から小型製品、2色成形、異材質成形など、あらゆる製品に対応しています。

当社の強み：一貫生産システム



ハイクオリティな製品をつくりだす、旭化学工業ならではの綿密な一貫生産システム

金型設計

長年のノウハウと最新のシステムで、お客様から頂いた製品データから樹脂化するための最適な金型を自社設計

金型製作

自社で金型を設計しているため、成形工程における様々な検討事項を即座にフィードバックし、より高精度な金型を製作

成形

様々な機械と長年の技術で汎用性の樹脂から超耐熱性の樹脂まで、高精度・高品質な製品を成形

加工

細部まで完璧な製品に仕上げるため、超音波ウェルダー、振動溶着機など先進の加工機械を使用して、正確かつ能率的に加工

組付け

機械と人の手により中身のパーツが組み入れられ、エンデューザーそのまま使用できるパーフェクトな完成品へ

品質管理

受け入れ検査、工程内検査、出荷検査など、すべての工程で徹底した品質管理

2025年8月期(連結) の業績



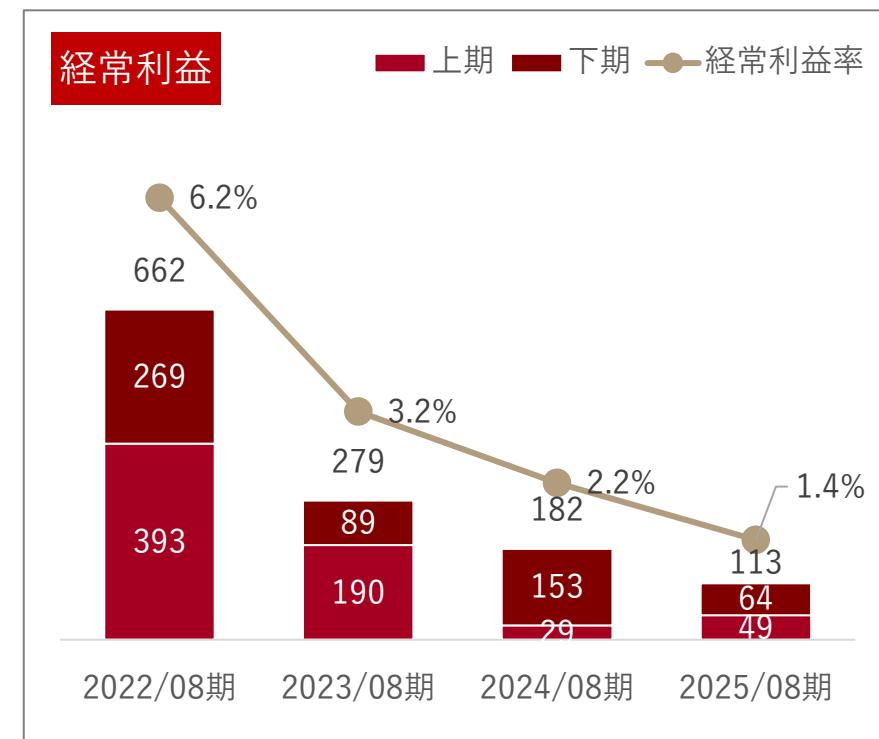
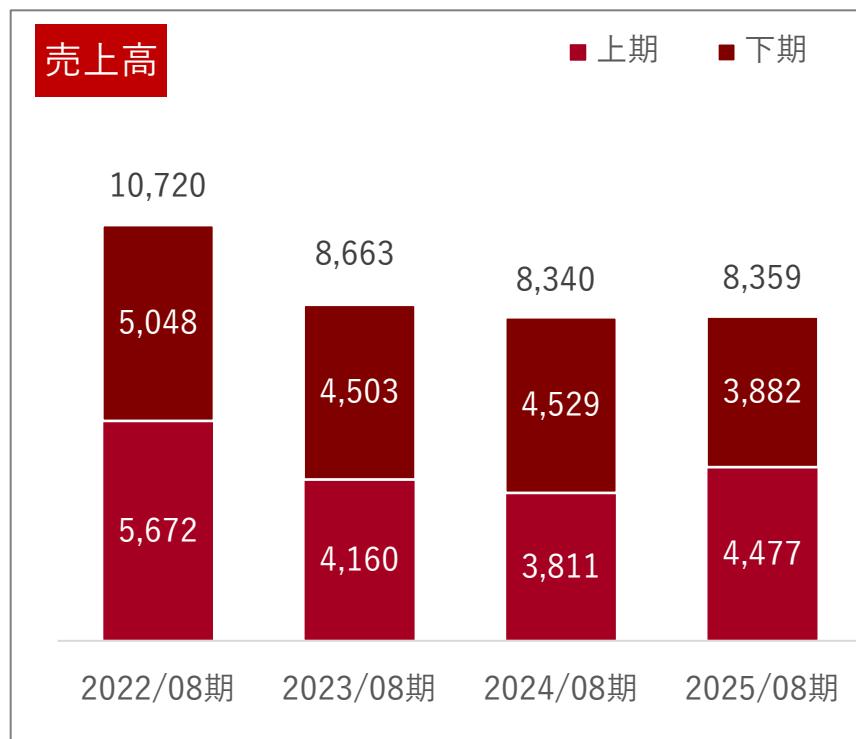
2025年8月期(連結)の業績概要

- 売上高については、自動車部品は災害等による取引先の工場非稼働の影響があり減少しました。電動工具部品は受注が3カ国共に増加しました。19百万円増加し、前期比0.2%増の83億59百万円
- 利益については、自動車部品製造のために導入した設備の減価償却費や研究開発費用の計上の影響により営業損失45百万円となりました。

(百万円)	2024/08期		2025/08期							
	第2四半期	通期	第2四半期				通期			
			予想	実績	前期比 (%)	予想比 (%)	修正予想 (4月14日開示)	実績	前期比 (%)	予想比 (%)
売上高	3,811	8,340	4,300	4,477	17.5	4.1	8,600	8,359	0.2	▲2.8
売上総利益 (売上高総利益率)	316 (8.3%)	750 (9.0%)		439 (9.8%)	▲38.9			793 (9.49%)	5.7	
販管費	344	712		475	38.1			839	17.7	
営業利益 (営業利益率)	▲28 (-)	37 (0.5%)	20 (0.5%)	▲36 (-)	(-)	(-)	▲25 (-)	▲45	(-)	(-)
経常利益 (経常利益率)	29 (0.8%)	182 (2.2%)	55 (1.3%)	49 (1.1%)	67.8	▲10.9	140 (1.6%)	113 (1.4%)	▲37.9	▲19.3
親会社株主に帰属する 四半期純利益	23	93	10	5	▲76.7	▲50.0	70	47	▲49.7	▲32.9
1株当たり配当 (中間、期末)	5.0円	7.0円	5.0円	5.0円	0.0	0.0	未定	5.0	▲28.6	0.0
配当性向	40.0%							66.4%		

業績概要

(百万円)



貸借対照表及び設備投資の状況

(百万円)	2024/08期	2025/08期
資産合計	6,954	6,678
流動資産	3,583	3,157
固定資産	3,370	3,520
負債合計	1,420	1,387
流動負債	1,231	1,196
固定負債	189	190
純資産合計	5,534	5,290
株主資本	4,142	4,152
自己資本比率	79.6	79.2



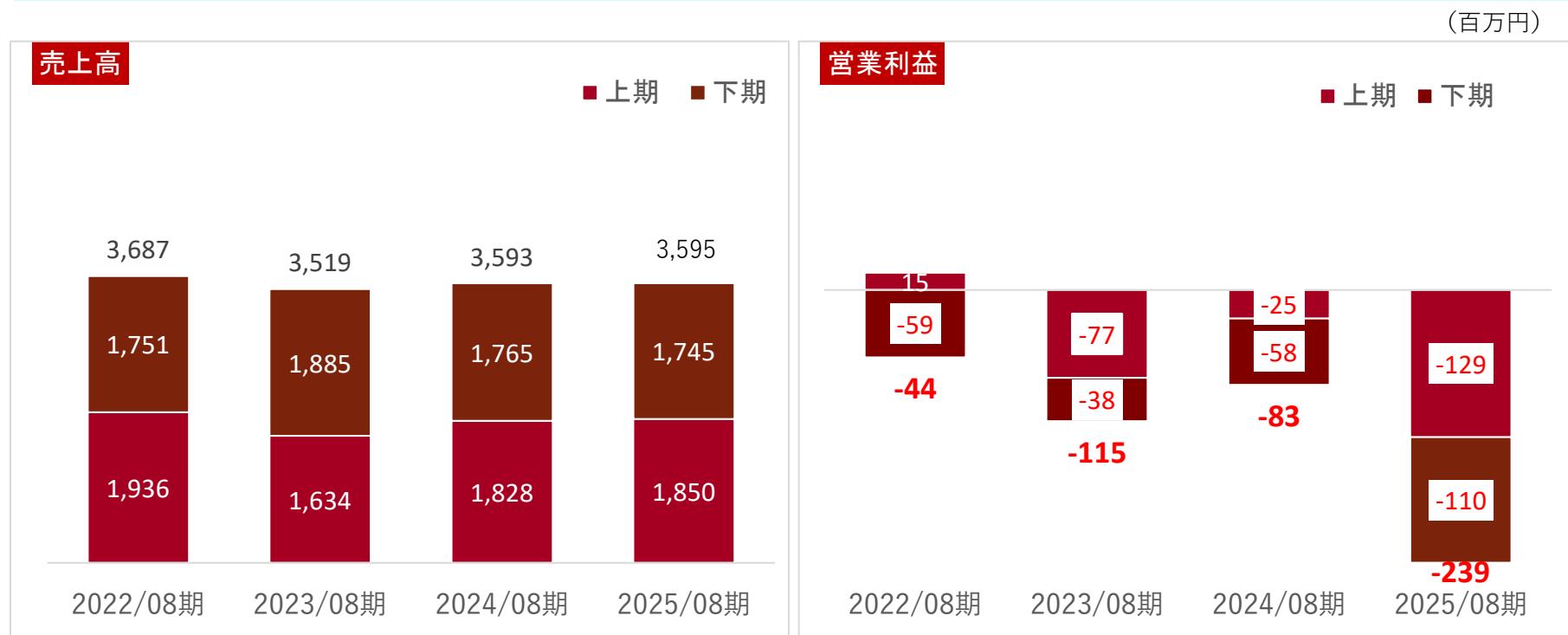
設備投資（59期）

2025年3月取得 本社工場 クリップ取付機

国内	旭化学工業株式会社	成形機、生産附属設備、成形後工程自動化設備	5億4,055万円
中国	旭日塑料制品（昆山）有限公司	生産附属設備、マシニングセンター	3,459万円
タイ	ASAHI PLUS CO.,LTD.	成形機、生産附属設備	6,929万円
合 計			6億4,444万円

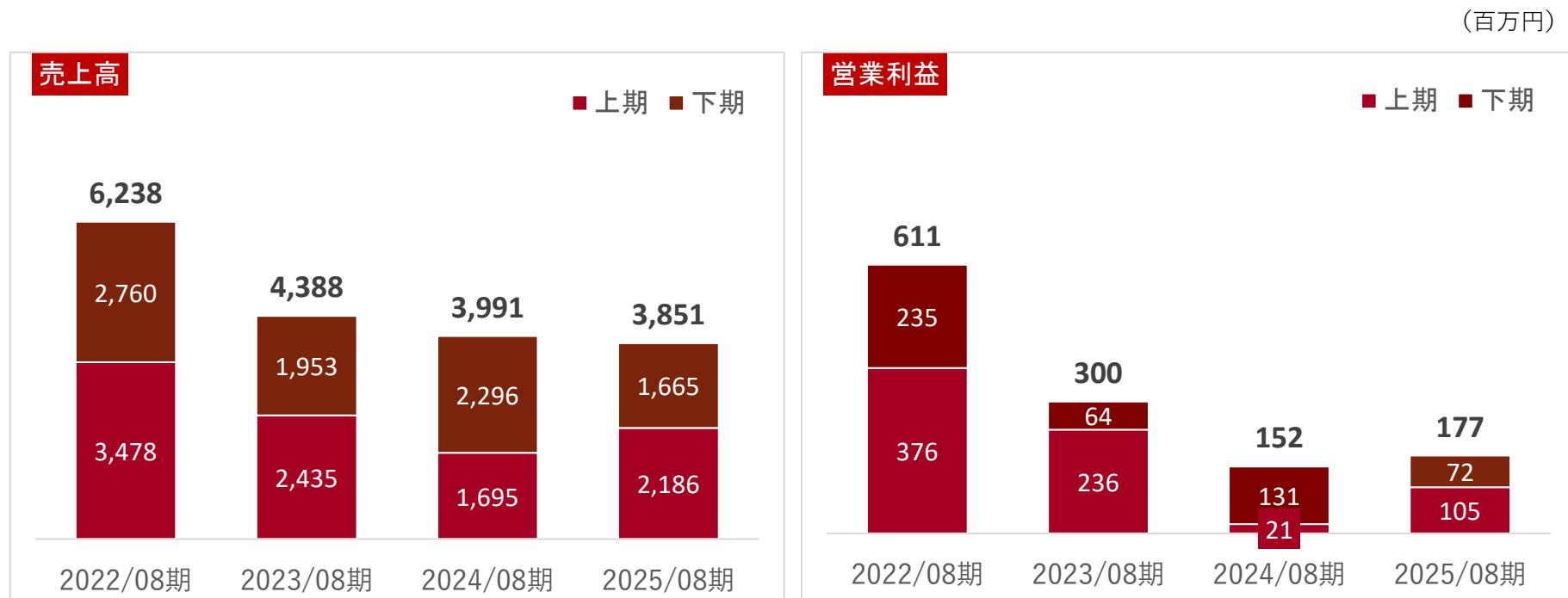
地域別の状況[国内]

- 売上高は、自動車部品関連の工場非稼働の影響により減少、また新規受注品の開始が当初計画より遅れたことにより、当期の売上計上が次期以降にずれ込み減少しましたが、電動工具部品は堅調に推移し増収となりました。
- 新規に受注した自動車部品のため今期に成形機1300 tを2台、成形後工程自動化設備を購入し2025年8月に稼働を開始。
- 2024年10月に建設した研究開発施設（植物工場）では継続して野菜栽培技術の研究を実施。
- 今期は研究開発費65百万円計上、減価償却費増加の影響により営業赤字が増加。



地域別の状況[中国]

- 取引先の在庫調整による受注減少が解消し、電動工具部品の受注が増加したものの、円高の影響で売上高は減少。
- 今期より金型製作の内製化率上昇へ取り組んでいる。新しくマシニングセンターを導入。



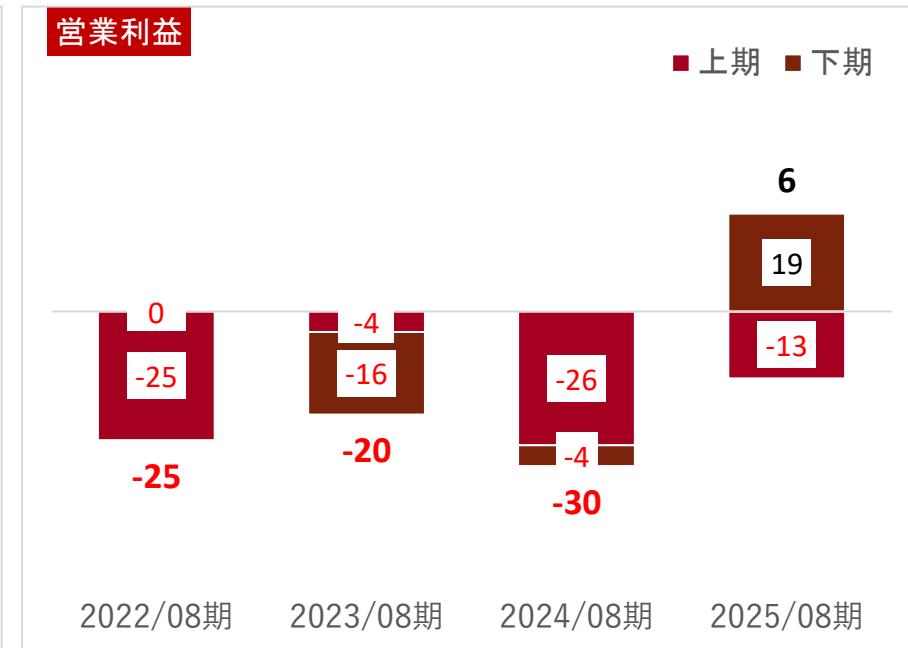
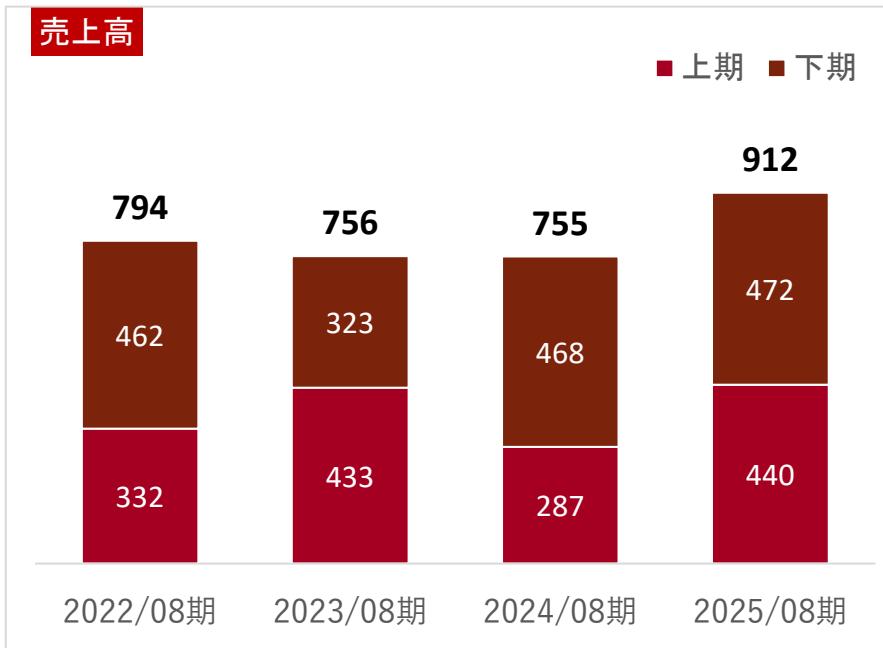
想定為替レート

20.35 19.96 22.35 20.16

地域別の状況[タイ]

- 電動工具部品の受注が堅調に推移、今期導入した成形機2台もフル稼働で生産し増収。
- 印刷工程の一部を内製化。今後は更に拡張を検討。

(百万円)



想定為替レート

3.85	4.07	4.36	4.44
------	------	------	------

2025年8月期(連結)のトピックス①

2025年8月 安城工場休憩室の改装工事の実施

従業員が心身ともにリフレッシュできる環境づくりの一環として、休憩室をリニューアルしました。内装や照明の改善、リラックススペースの拡充などにより快適に過ごせる空間を整備し、従業員満足度の向上を図っております。



2025年8月期(連結)のトピックス②

愛知県西尾市 印刷業務開始

2025年2月より印刷業務の内製化開始

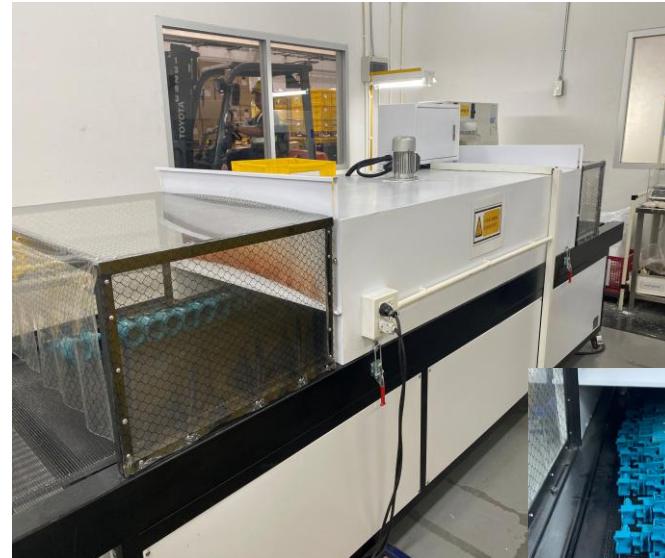


ASAHIPLUS 印刷設備の導入

協力会社に委託していた印刷工程を取り込み、成形から後加工までを社内工程のみで完結させることでキャッシュアウトを減らし、成形から出荷までのリードタイム短縮を目指す。



印刷機



温風式乾燥機



中国工場からの技術指導

長年の実績のある中国工場に協力を仰ぎ、生産工程におけるノウハウ及び品質管理についての指導を受けることで総合的な生産効率を上げる。
中国工場の印刷技術者を招き、印刷技術の指導会を実施。



印刷現場での技術指導



座学による品質管理指導



2026年8月期(連結)の業績予想

- 売上高は、日本は自動車部品の現行量産品の一部が2025年11月で終了のため4億40百万円減少する見込み。電動工具部品は3カ国共に堅調に推移する見込み。
- 日本は前期以前に取得した設備の減価償却費増加により営業利益が圧迫され営業赤字予算であります。現金支出は既に完了しており、今後の生産効率向上により回収を見込んでおります。
- 生産性効率向上及びコスト最適化のため製造プロセスの内製化率を高めています。中国工場は金型製作、タイは印刷工程、について外注コストの削減と品質管理の強化を図り、安定的な利益体质の構築をめざします。

		2026/08期		(百万円)	
		第2四半期		通期	
	予想	前期比 %		予想	前期比 %
売上高	4,100	▲8.4		7,850	▲6.1
営業利益 (営業利益率)	35 (0.9%)	—		40 (0.5%)	—
経常利益 (経常利益率)	60 (1.5%)	21.9		110 (1.4%)	▲3.0
親会社株主に帰属する 四半期純利益	30	439.0		50	6.1
1株当たり配当	5.0円	0.0		5.0	0.0
配当性向				62.5%	

当社が目指す姿と 中期経営計画

中期経営計画 結果

(2023年8月期～2025年8月期)

グローバルで活躍する企業を目指しているものの、当社グループを取り巻く受注環境は厳しく、売上高、当期純利益は中期経営計画を下回りました。

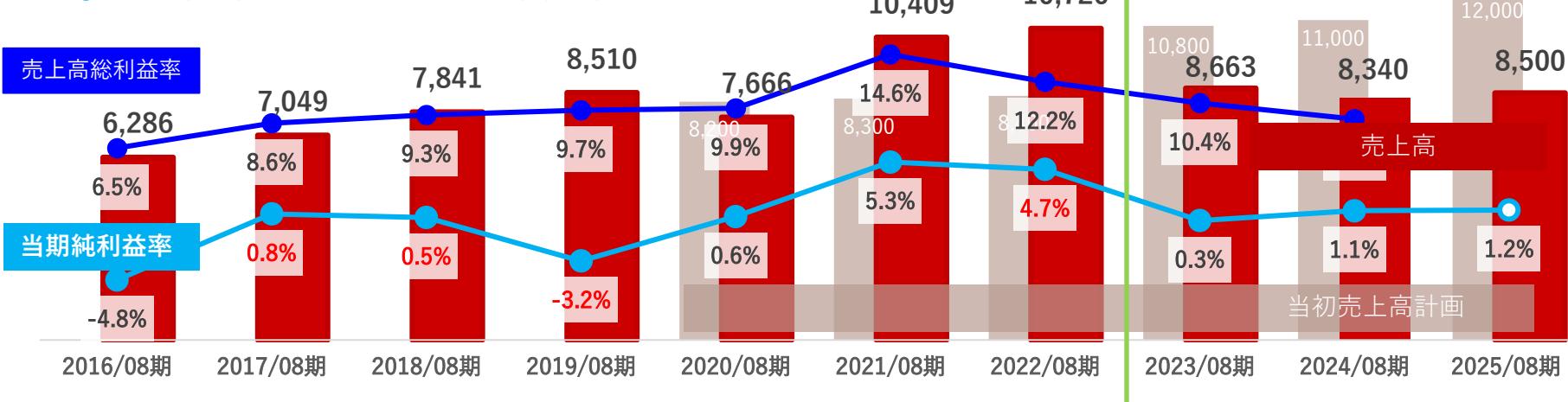
(百万円)	2023/08期 (実績)		2024/08期 (実績)		2025/08期 (実績)	
	第2四半期	通期	第2四半期	通期	第2四半期	通期
売上高	4,503	8,663	3,811	8,340	4,477	8,359
売上高総利益	513	898	316	750	439	793
売上高総利益率	11.4%	10.4%	8.3%	9.0%	9.8%	9.5%
営業利益	149	169	▲28	37	▲36	▲45
経常利益	190	279	29	182	49	113
経常利益率	4.2%	3.2%	0.8%	2.2%	1.1	1.4
親会社株主に帰属する 当期純利益	83	23	23	93	5	47
当期純利益率	1.8%	0.3%	0.6%	1.1	0.1	0.6

■ 中期経営計画（当初計画）

● 当期純利益率

■ 売上高

● 売上総利益率





中期経営計画 結果

(2023年8月期～2025年8月期)

テーマ グローバル競争力の強化と人材育成

重点施策	実施する取組み	KPI	評価	実施状況
技術者の育成 若手技術者と グローバル人材の育成	各種資格取得支援の社内推進 社外講習会への参加推進 能力重視した人事評価と適材適所の組織体制	日本 射出成形技能士資格 取得 (1級2名 2級5名) 中国 社内独自の資格制度 試験実施 タイ 社外セミナー参加	△	取引先工場見学実施 (自動化設備、品質管理) 日本 射出成形技能士資格 取得 (2級5名)
生産性の向上 高品質で量産性の高い 成形技術の確立、 グループ全体最適化の 実現	生産工程及び品質管理の自動化 中国第3工場の稼働 タイ工場の生産能力の拡充	製造効率改善 売上高総利益率20% 経常利益率7%	△	生産工程の自動化設備導入 売上高総利益率9.5% 経常利益率1.4% 中国第3工場建設中止
利益率の改善	自社商品の開発 多色成形機を活用した高付加価値製品の提供	自社商品売上高40%増加 製造効率改善	○	自社商品の新製品販売開始: ビッグアンカー1/2 Mk-II (2024年 6月)
サステナビリティの 推進 持続的社会の実現に貢 献すべく、社会価値の 共創	ハラスマントなど各種研修実施 によるガバナンス強化 多様性を尊重した職場づくり 二酸化炭素排出量のゼロを目指 した取組み開始	国内育休取得率30% 国内太陽光発電設備設置 女性管理職 (グループ全体 7名)	△	国内育休取得率83.3% 女性管理職 (グループ全6 名) 脱炭素スクール参加



新中期経営計画 (2026年8月期～2028年8月期)

テーマ

グローバル競争力の強化と人材育成

重点施策	実施する取り組み	KPI
技術者の育成 若手技術者とグローバル人材の育成	各種資格取得支援の社内推進 社外講習会への参加推進 能力重視した人事評価と適材適所の組織体制	日本 射出成形技能士資格取得 1級2名 2級5名 中国 社内独自の資格制度試験実施 タイ 社外セミナー参加
生産性の向上 高品質で量産性の高い成形技術の確立、グループ全体最適化の実現 M&Aの検討	生産工程改善、自動化設備導入による原価改善 成形段取時間の削減、作業手順の見直し 生産能力強化、自社技術と相乗効果を生む技術及び人材の獲得を目的にM&Aを検討	製造効率改善 段取時間30%削減 自動化設備導入
利益率の改善	自社商品の開発 老朽化設備を更新し新しい成形機を活用した高付加価値製品の提供 在庫削減	自社商品の新規発売 製造効率改善 在庫30%削減
サステナビリティの推進 持続的社会の実現に貢献すべく、社会価値の共創	ハラスメントなど各種研修実施によるガバナンス強化 多様性を尊重した職場づくり 二酸化炭素排出量のゼロを目指した取り組み開始	国内育休取得率100% 国内太陽光発電設備設置 女性管理職グループ全体7名

(百万円)	2025/08期		2026/08期		2027/08期		2028/08期	
	第2四半期	通期	第2四半期	通期	第2四半期	通期	第2四半期	通期
売上高	4,477	8,359	4,100	7,850	4,350	8,700	4,800	9,600
営業利益	▲36	▲45	35	40	40	80	60	120
経常利益	49 (1.1%)	113 (1.4%)	60 (1.5%)	110 (1.4%)	75 (1.7%)	150 (1.7%)	100 (2.1%)	200 (2.1%)
親会社株主に帰属する当期純利益	5	47	30	50	45	90	60	120

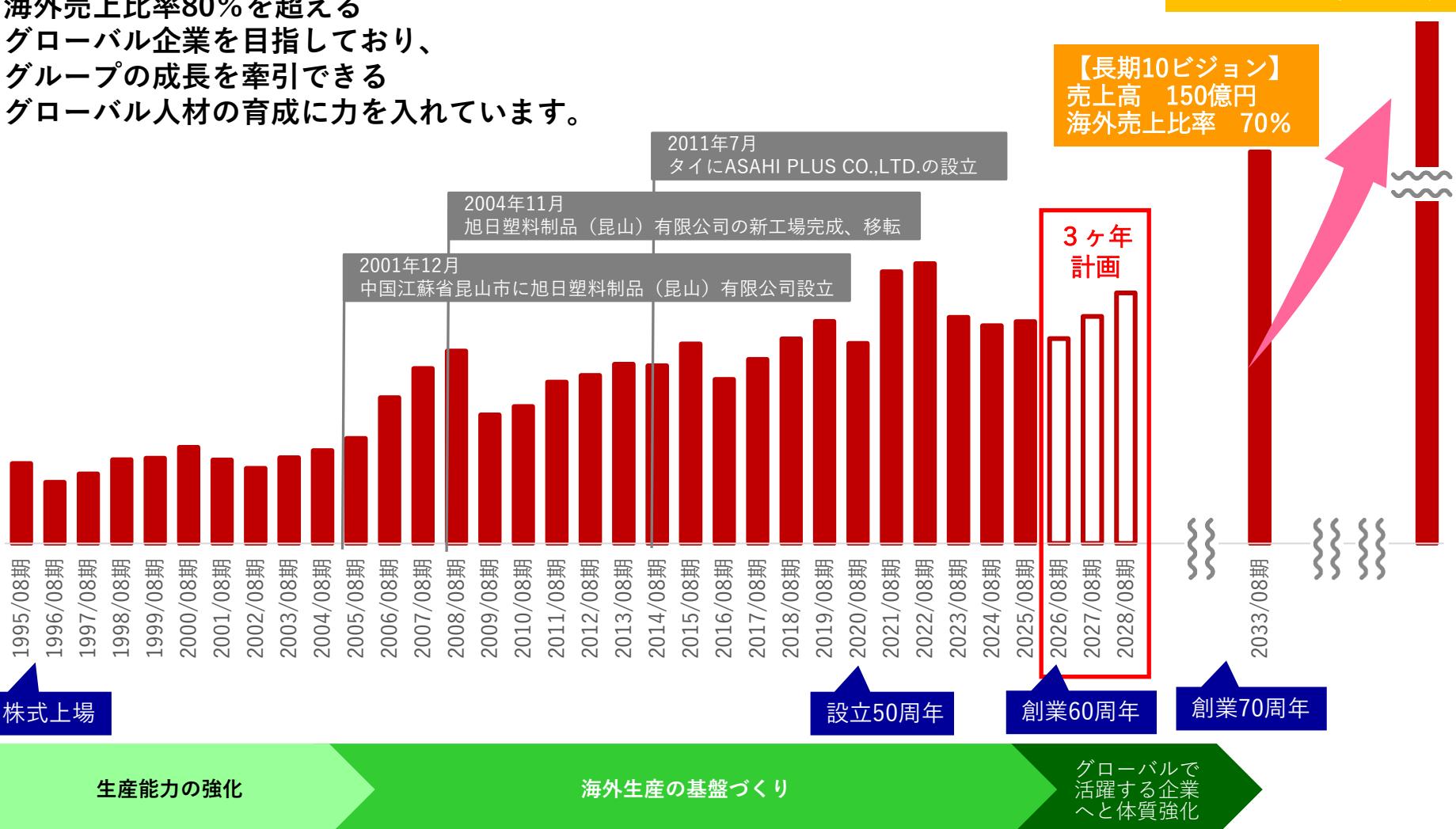
当社が目指す姿と中期経営計画

(2026年8月期～2028年8月期)

当社グループは、
海外売上比率80%を超える
グローバル企業を目指しており、
グループの成長を牽引できる
グローバル人材の育成に力を入れています。

【当社の目指す姿】
売上高 300億円
海外売上比率80%を超える
グローバル企業へと成長

【長期10ビジョン】
売上高 150億円
海外売上比率 70%



株主還元方針

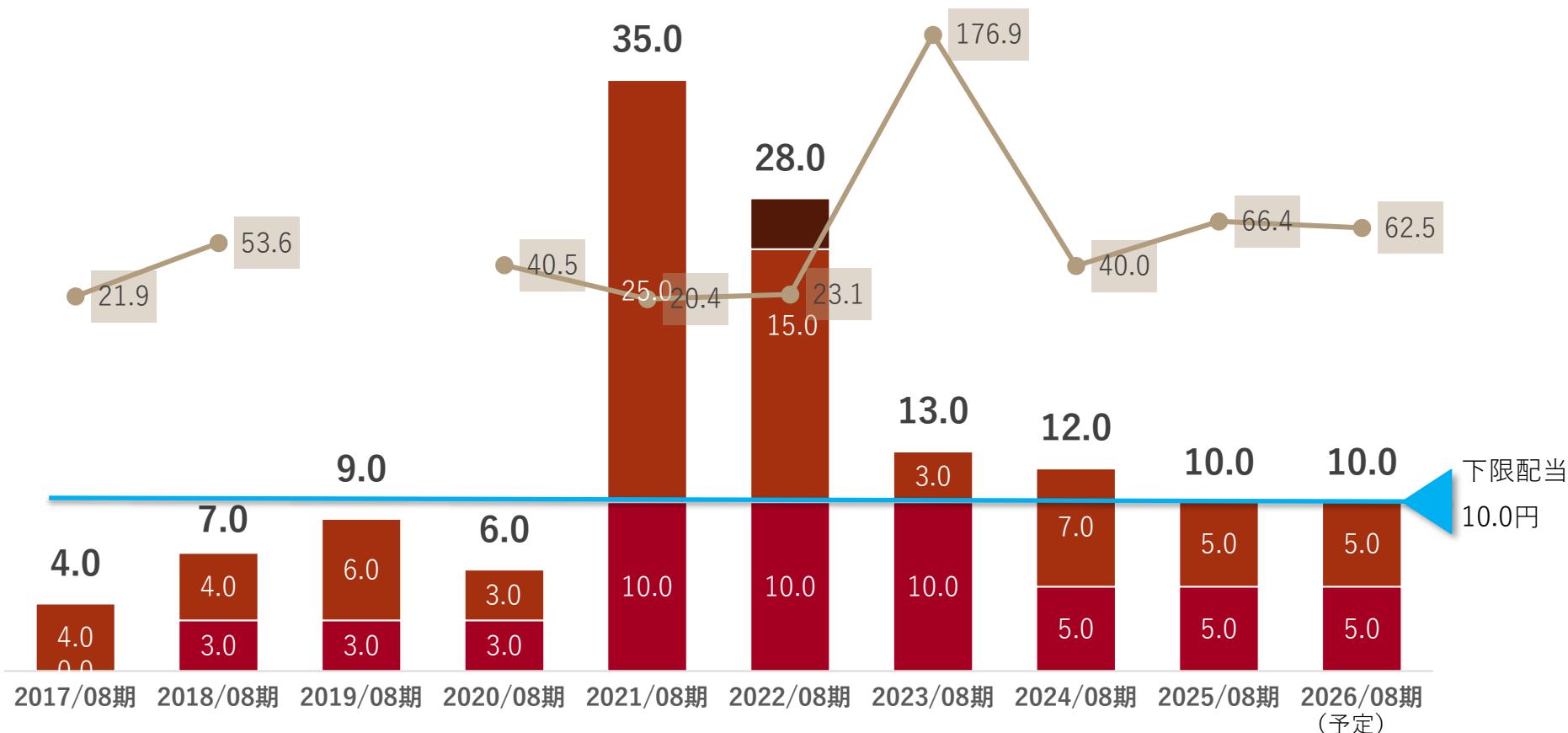
財務基盤を堅持しつつ、継続的な株主還元を実現するため、将来の成長投資と株主還元のバランスに基づき、配当性向30%を基本方針としております。
また、2024年8月期より下限配当を10円と設定しております。

■ 一株当たり中間配当金

■ 一株当たり期末配当金

■ 記念配当金

■ 配当性向



資本コストや株価を
意識した
経営の実現に向けた
対応について

はじめに

「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」に関して、2026年8月期～2028年8月期の中期経営計画に基づいた当社の計画についてご説明します。

現状分析

- ・自社の資本コストや資本収益性を的確に把握
- ・その内容や市場評価に関して、取締役会で現状を分析・評価

計画策定・開示

- ・改善に向けた方針や目標・計画期間、具体的な取組みを取締役会で検討・策定
- ・その内容について、現状評価とあわせて、投資者にわかりやすく開示

取組みの実行

- ・計画に基づき、資本コストや株価を意識した経営を推進
- ・開示をベースとして、投資者との積極的な対話を実施

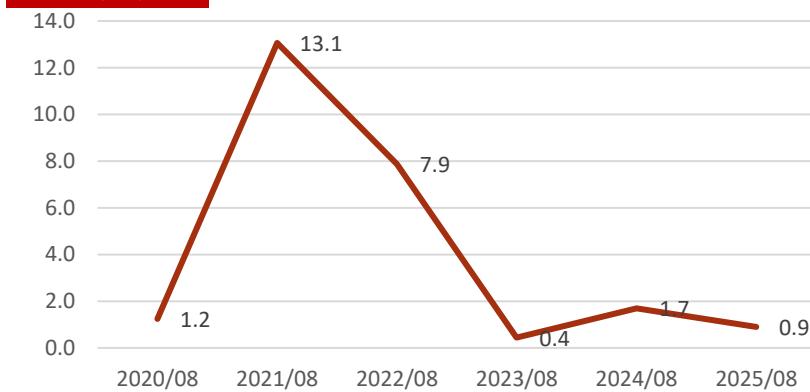
現状分析：PBRとROEの推移

目標としているROE 10%に対し、2025年8月期のROE 0.9%
PBRは平均、0.5倍を下回っており、この3年は0.4倍を下回って推移している。

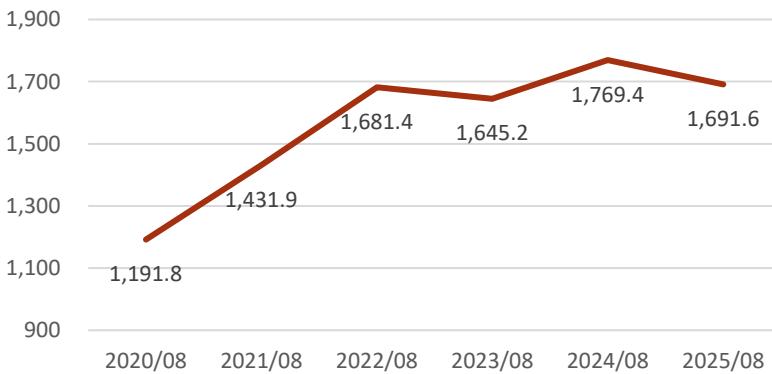
PBR(倍)



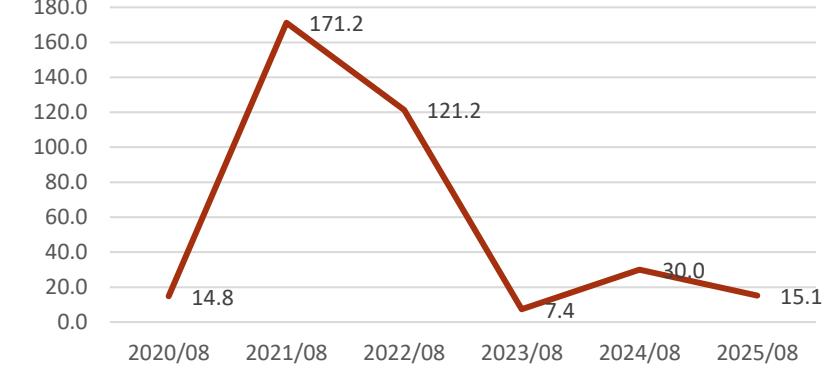
ROE(%)



BPS(円)



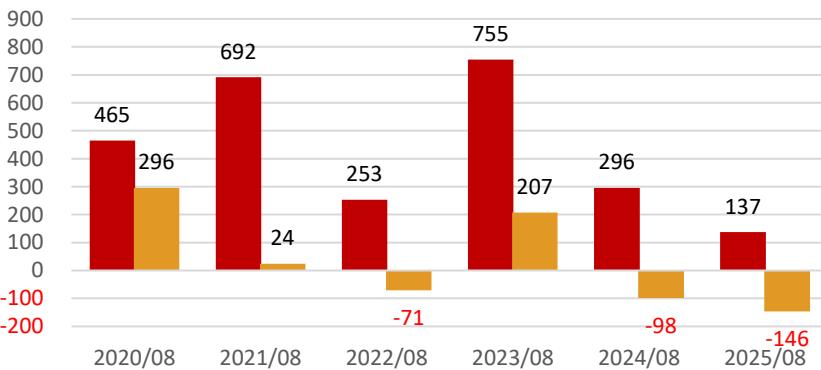
EPS(円)



現状分析：キャッシュの状況

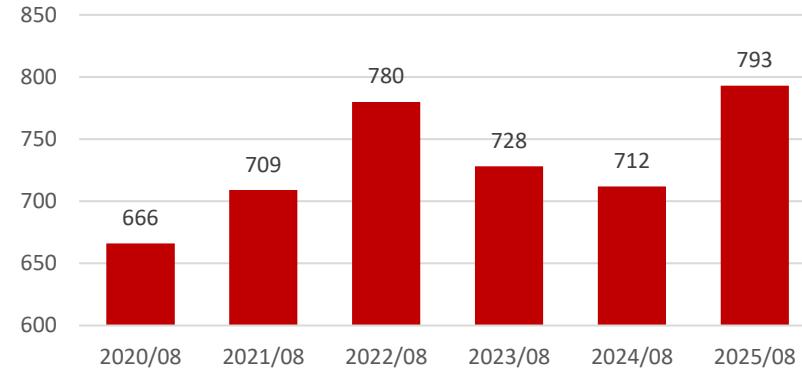
2025年8月期に高付加価値製品の製造・開発のための積極的な設備投資を行ったため、フリーCFは大きく減少。

営業CF(百万円)

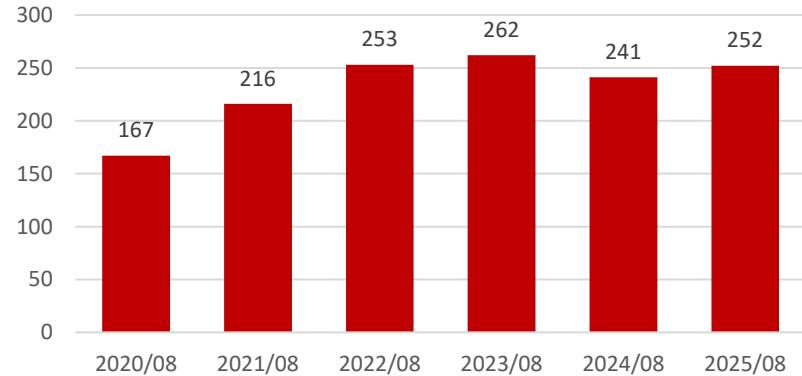


フリーCF(百万円)

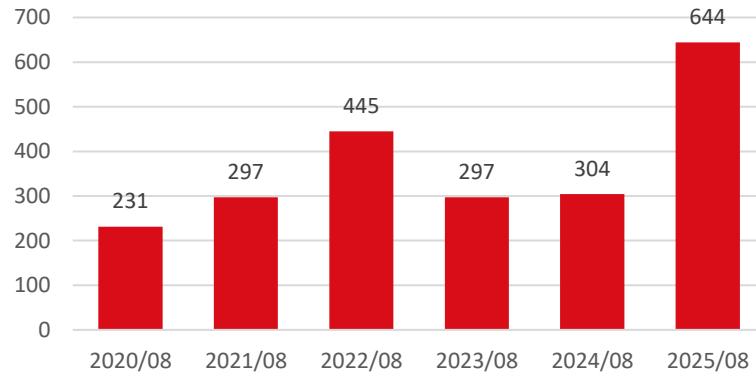
販売管理費(百万円)



減価償却費(百万円)



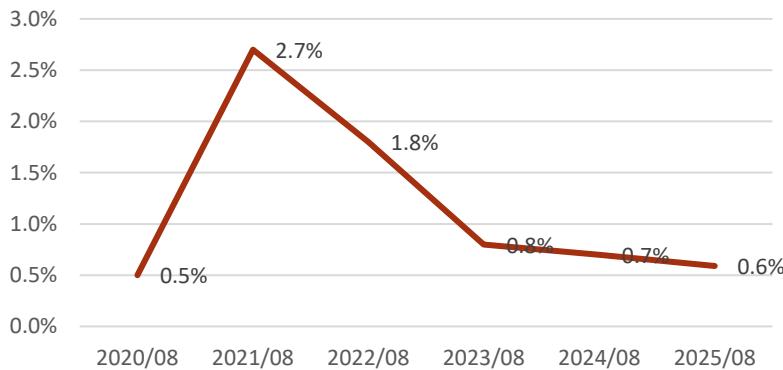
設備投資額(百万円)



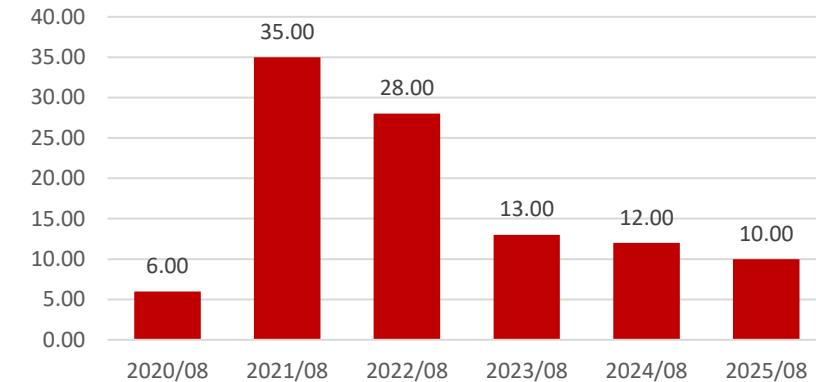
現状分析：株主還元の推移

個人投資家を中心に市場での認知度を高めるため、株主優待も新設。

DOE(%)



一株あたり配当金(円)

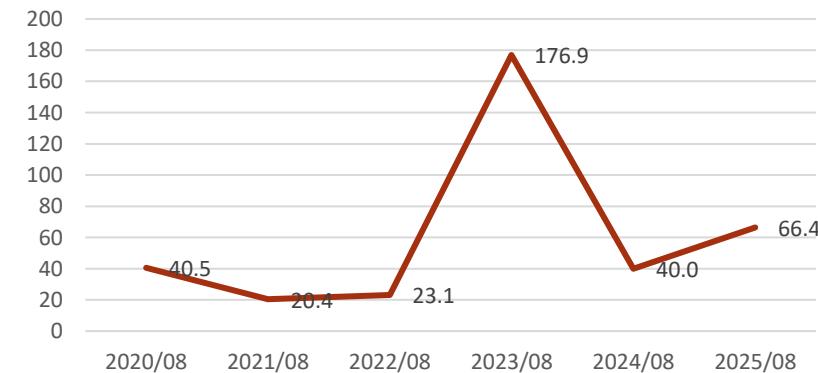


株主優待

保有株数	優待内容
100株以上	Q U O カード 1,000円分

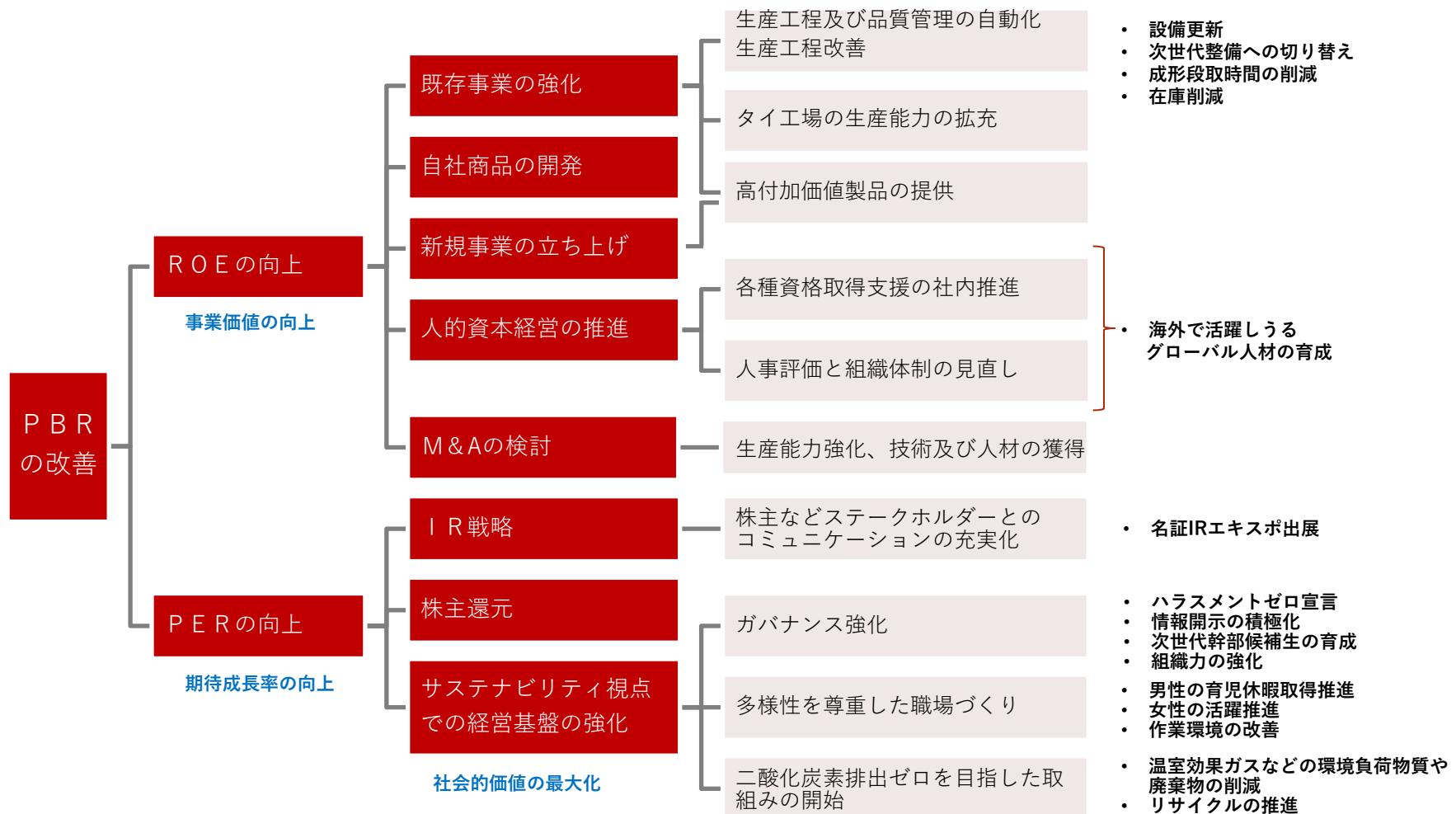
※2024年8月31日現在の株主名簿に記載された株主のうち、当社100株以上を保有されている株主様が対象

配当性向(%)



企業価値向上に向けた取組み

投資家が期待する資本収益性をあげられていないことに加えて、市場での当社グループの成長性に対する認知度が低いことがP E Rの低迷要因であると分析しております。
現在遂行中の中期経営計画達成に向けた取組みを進めていくことで、中長期的な持続的成長と成長期待度の向上を図ってまいります。





本資料に関するご注意

- ・ 本資料は、情報提供を目的としたものであり、特定の商品の募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。
- ・ 本資料で提供している情報は、金融商品取引法、投資信託及び投資法人に関する法律、東京証券取引所有価証券上場規程並びにその他関連法令、関係諸規則に基づく開示書類または報告書ではありません。
- ・ 本資料の内容については、将来の予測に関する記述が含まれていますが、こうした記述は、本資料の作成日において入手可能な情報に基づいてなされた本投資法人および本資産運用会社の判断に基づいて行ったものです。将来の本投資法人の業績、経営結果、財務内容等を保証するものではありません。また、本資料の内容に関しては、その正確性及び確実性を保証するものではありません。なお、予告なしにその内容が変更または廃止される場合がありますので、予めご了承ください。
- ・ なお、事前の承諾なしに、本資料に掲載されている内容の複製・転用等を行うことを禁止いたします。

お問い合わせ先

総務部

電話番号：（0566）92-4181（代表）

E-mail : y.matsuo@asahikagakukogyo.co.jp

URL : <https://www.asahikagakukogyo.co.jp>